



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場会社名 株式会社メドレックス 上場取引所 東
 コード番号 4586 URL <http://www.medrx.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松村真良
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 北垣栄一 (TEL) 03(3664)9630
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	48	△18.1	△400	—	△425	—	△428	—
24年12月期第3四半期	58	—	△435	—	△446	—	△438	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 △430百万円(—%) 24年12月期第3四半期 △438百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	△83.84	—
24年12月期第3四半期	△150.69	—

(注) 1. 当社は、平成23年12月期第3四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	4,071	3,553	86.9
24年12月期	786	275	35.0

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 3,538百万円 24年12月期 275百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	277	315.8	△714	—	△729	—	△732	—	△150.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年12月期3Q	6,145,400株	24年12月期	2,911,300株
25年12月期3Q	—株	24年12月期	—株
25年12月期3Q	5,110,034株	24年12月期3Q	2,911,300株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、円安に伴い輸出関連企業の収益が回復し、政府の経済対策や金融政策への期待感から個人消費が改善するなど景況感に明るさが見られましたが、円安による原材料・エネルギー価格の上昇、欧州の財政不安の長期化、米国の政府債務上限問題及び新興国の経済成長鈍化等の景気下振れリスクのため、先行き不透明感を拭いきれない状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループではイオン液体を利用した独自の経皮製剤技術ILTS®(Ionic Liquid Transdermal System)を用いて、低分子から高分子に至る様々な有効成分の経皮吸収性を飛躍的に向上させることにより、新しい付加価値を持った医薬品を開発することを事業の中核に据え、当社グループの最重要パイプラインである消炎鎮痛貼付剤 ETOREAT (エトドラクテープ剤) の製品化に向けた開発を推し進めるとともに、後続パイプラインの研究開発及び提携候補先との契約交渉を行うなど、事業の拡大を図ってきました。また、当社の上市製品である褥瘡・皮膚潰瘍治療剤「ヨードコート軟膏」等の製品を提携先の製薬会社を通じて販売してきました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の製品売上高と研究開発等収入を合わせた売上高は48百万円、研究開発費用とその他経費を合わせた販売費及び一般管理費は445百万円を計上しました。営業損失は400百万円、経常損失は425百万円、四半期純損失は428百万円となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度に比べて3,284百万円増加し、4,071百万円となりました。有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行、有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株発行及び行使価額修正条項付き第6回新株予約権（第三者割当て）の権利行使に伴う新株発行等により、現金及び預金が2,873百万円、投資有価証券が398百万円増加しております。

流動資産は3,405百万円となりました。主な内容は、現金及び預金3,338百万円等であります。固定資産は666百万円で、主な内容は投資有価証券398百万円、建物及び構築物181百万円であります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて6百万円増加し、517百万円となりました。これは持分法適用による負債が2百万円増加したこと等によるものであります。

流動負債は454百万円となりました。主な内容は一年内返済予定の借入金399百万円等であります。固定負債は63百万円となりました。主な内容は持分法適用に伴う負債53百万円等であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,278百万円増加し、3,553百万円となりました。有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株発行、有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株発行及び修正条項付き第6回新株予約権（第三者割当て）の権利行使に伴う新株発行により、資本金と資本剰余金がそれぞれ1,741百万円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の35.0%から86.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想につきましては、平成25年2月13日に公表した決算短信の数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、当四半期連結会計期間においても営業赤字が継続しているため、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しておりますが、平成25年2月13日に東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う資金調達により、今後の研究開発活動を展開するための資金は確保できており、継続企業の前提に関する重要な不確実性はないと認識しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	465,379	3,338,382
売掛金	6,033	164
原材料及び貯蔵品	15,225	22,649
未収入金	42,949	37,388
前渡金	—	25,232
その他	5,141	9,056
貸倒引当金	△27,569	△27,569
流動資産合計	507,160	3,405,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	187,964	181,567
機械装置及び運搬具（純額）	22,074	15,297
工具、器具及び備品（純額）	4,801	5,905
有形固定資産合計	214,841	202,769
無形固定資産		
ソフトウェア	—	1,310
無形固定資産合計	—	1,310
投資その他の資産		
投資有価証券	—	398,261
長期前払費用	21,043	20,760
差入保証金	38,426	38,426
その他	5,249	4,810
投資その他の資産合計	64,719	462,259
固定資産合計	279,560	666,339
資産合計	786,720	4,071,643
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,869	462
1年内返済予定の長期借入金	404,843	399,000
未払金	27,379	33,351
未払法人税等	7,351	11,358
その他	5,951	10,321
流動負債合計	450,395	454,494
固定負債		
繰延税金負債	1,801	1,764
資産除去債務	7,834	7,956
持分法適用に伴う負債	51,416	53,635
固定負債合計	61,052	63,356
負債合計	511,447	517,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,134,555	3,981,071
資本剰余金	1,703,755	3,550,271
利益剰余金	△3,560,719	△3,989,153
株主資本合計	277,590	3,542,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△1,552
為替換算調整勘定	△2,317	△2,626
その他の包括利益累計額合計	△2,317	△4,179
新株予約権	—	15,784
純資産合計	275,272	3,553,793
負債純資産合計	786,720	4,071,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高		
製品売上高	45,429	13,199
研究開発等収入	13,465	35,025
売上高合計	58,894	48,224
売上原価		
製品売上原価	24,130	3,938
売上原価合計	24,130	3,938
売上総利益	34,764	44,286
販売費及び一般管理費	470,605	445,063
営業損失(△)	△435,841	△400,776
営業外収益		
受取利息	65	337
受取賃貸料	1,714	1,714
為替差益	4,227	12,621
受取研究開発負担金	20,970	21,047
その他	378	3,798
営業外収益合計	27,356	39,518
営業外費用		
支払利息	2,337	6,519
持分法による投資損失	30,738	24,269
株式交付費	—	18,301
株式公開費用	5,009	6,278
営業外支払手数料	—	8,346
その他	—	61
営業外費用合計	38,085	63,776
経常損失(△)	△446,570	△425,035
特別利益		
助成金収入	10,445	—
特別利益合計	10,445	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△436,124	△425,035
法人税、住民税及び事業税	2,613	3,436
法人税等調整額	△37	△37
法人税等合計	2,576	3,398
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△438,701	△428,433
四半期純損失(△)	△438,701	△428,433

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△438,701	△428,433
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△1,552
為替換算調整勘定	△43	△309
その他の包括利益合計	△43	△1,862
四半期包括利益	△438,744	△430,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△438,744	△430,296

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは医薬品製剤開発及びこれらの付帯業務の単一事業であるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成25年2月12日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行2,202,200株（発行価格1,000円、引受価額920円、資本組入額460円）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,013,012千円増加しております。

平成25年3月12日を払込期日とする有償第三者割当（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行349,500株（割当先 野村証券株式会社、発行価格920円、資本組入額460円）により、資本金及び資本準備金がそれぞれ160,770千円増加しております。

平成25年9月3日にメリルリンチ日本証券株式会社に対して発行した行使価額修正条項付き第6回新株予約権の権利行使による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ567,504千円増加しております。